

※考房『ゆめ』学生プロジェクトが参加者を募集しています。

松本大学 キッズスポーツスクール

私たちキッズスポーツスクールは、3歳から6歳児を対象に、子供たちに体を動かす楽しさを伝えスポーツを好きになるきっかけとして運動遊びを提供します。



お元気ライフぶろっす

地域の方々を共に考えていきます。健康教室や、生きがいづくりのお手伝いをさせていただき地域を元気にする活動です。活動は不定期で、運動から書道まで、幅広く活躍しています!

Sign

聴覚障がいや手話について、聴覚障がい者の方々から学び、そこで学んだことを学生や地域の方々に交流を通して理解を深めていくプロジェクト。主に手話学習会や外部との交流会をしています。



ええじゃん栄村

ええじゃん栄村は被災した栄村の復興支援を目的として活動してきました。今は栄村の方が経営するぶらり農園に開発したメニューの提供などを行っています。

すすき川花火大会

すすき川花火大会プロジェクトでは企業・地域・学生で協力し花火大会を盛り上げることで、地域の活性化を図ることを目標に楽しく活動しています。



他にも学生と地域の方々連携した様々な活動があります!! ぜひ一度、考房『ゆめ』まで遊びにきてください。

つぶやき

大学生活の中で何かを成し遂げたいと思い、ゆめ通信編集委員として活動を始めてから、4年が経ちました。2年次からリーダーを務めさせていただき、やりがいを感じつつも大変なことがたくさんありました。しかし、さまざまな人に出会い、支えられながら活動を続けることができました。

考房『ゆめ』での活動は、私にとってかけがえのないものです。ここで学んだ、周りを見て自ら率先して行動することや、協力し合うことの大切さをこれからの社会人としての生活に活かしていきたいと思っています。

26年度卒業 清水 彩花

松本大学と地域をつなぐ イベント情報誌

松本大学子どもあそび隊

乳幼児とその親御さんを対象に大学内で「こども広場」を開催。季節に合わせたテーマをもとに学生企画の親子の触れ合いの場を提供しています。



松本BBS会

私たち松本BBS会は、非行に走ってしまった少年たちとスポーツやお菓子作り、学習支援などの交流をすることで、友達になろうという活動です。

◎いただきます!!

松本市と協働して食品ロス削減に基づき残り物を活用したりメイク料理、野菜を丸ごと使用した丸ごと料理のレシピ作成を行なっています。



プロプロ

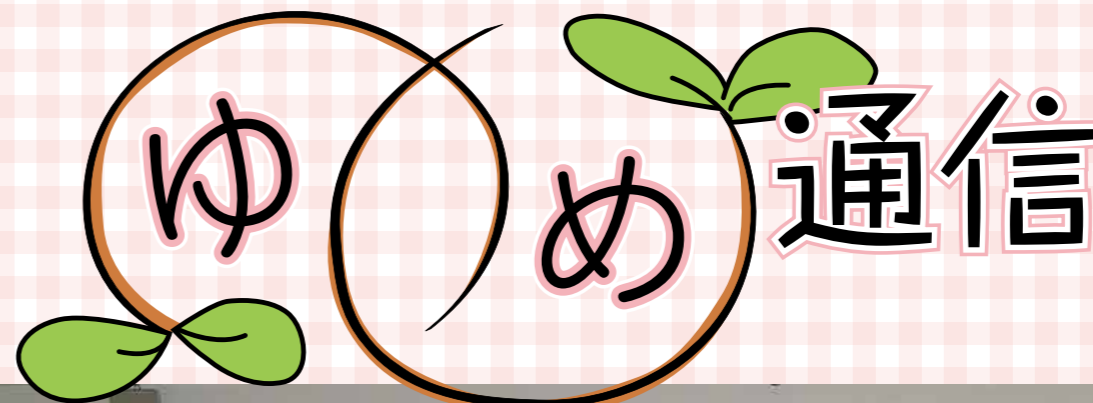
一般家庭で使われなくなったレゴブロックの回収と洗浄を行い、それらを必要としている施設や個人への提供するための場を創ることを目的とした団体です。

ゆめ通信編集委員

考房『ゆめ』のプロジェクトの活動を地域へ伝える情報誌、ゆめ通信の「学生ゆめ」のページを主に作成しています。取材・文章作成・レイアウトなど、様々なことを学べます!



大学と地域がつながる情報誌



Vol. 32 2015.3.31



2~7

特集 平成26年度地域フォーラム

子どもたちがつくりあげる街『あるぷあタウン』

- あるぷすタウンに大勢が参加
- 地域社会に関心を持つきっかけに
- 働いてお金を稼ごう! 使おう!
- あるぷすタウンはこんな街です!
- 市長・議員が誕生!
- 子どもたちが起業しました
- 活動に参加して

考房『ゆめ』は社会貢献活動を行う学生を支援しています。地域の方からの「お願い」を松大生とともに創造しています!



地域づくり考房『ゆめ』キャラクター こう坊

8

Information

お問い合わせ、ご意見等は下記へご連絡ください。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1
松本大学 7号館 2F
TEL: 0263-48-7213 (直通)
FAX: 0263-48-7216 (直通)
E-mail: community@matsu.ac.jp
URL: http://www.matsu.ac.jp/matsumoto_u/yume/
※開館日時: 月~金 9:30~18:30



学校法人松高学園

松本大学

「ゆめ」の由来...結芽「ニーズの芽を結ぶ場所」+夢+遊眼「遊び心の視点を持つ眼」

地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に活かしていくことを目指しています。



あるぷすタウン 報告

2015年2月28日(土)・3月1日(日)に、松本大学5号館と体育館で開催いたしました。

あるぷすタウンは、子どもたちが街を運営し作り上げていく子どもだけの街です。プロの方に本物の仕事を指導していただき、お金を稼ご、税金を納め、残ったお金は自分の好き

ように使う。

大学生や社会人の有志が実行委員会を結成し、約半年間準備をしてきました。当日は小・中学生160名が参加。高校生などにも当日ボランティアとしてお手伝いいただき、子どもたちは体験を通して社会の仕組みを学びました。

あるぷすタウンができるまで

この始まりは、昨年度地域フォーラムの発題者として講演いただいた畠中洋行さんの事例紹介に、本学学生が共感したことによります。8月には、学生・社会人・教員の14名で、高知県の「とさこタウン」を視察してきました。それを基に、松本らしさを追求した「あるぷすタウン」企画づくりが始まりました。

専門家への依頼や打合せには3ヶ月を要しました。事前にブースごと専門家と担当学生や社会人との数回に及ぶ打合せを行い、内容・ルール・流れ等の共通認識を図りました。

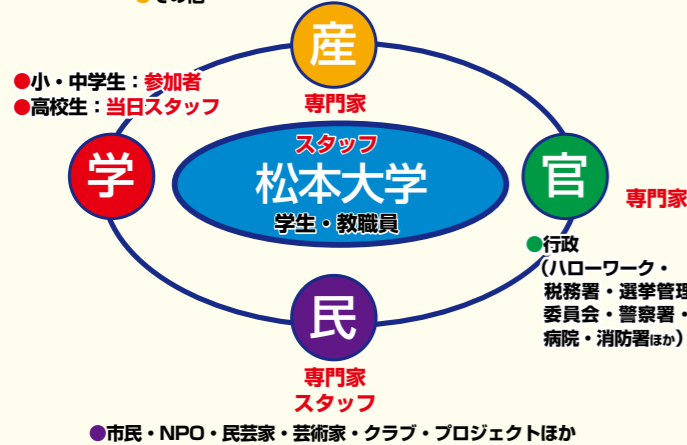


専門家、学生、社会人による打ち合わせ

子どもからお年寄りまで大勢が参加

産学官民協働事業「あるぷすタウン」

- 会社 (銀行・交通・清掃・メディア・新聞店・企画)
- 店 (写真店・花屋・飲食店)
- 職人 (工務店・板金屋・榎木屋・美容院)
- その他



当日スタッフとして、中农信地域の高校 11 校 60 名の高校生と本学学生、専門家を含む社会人、総勢 2 日間述べ 659 名が活躍しました。

あるぷすタウンには、官公庁街、商店街、職人の街など 22 ブースが開店。また、お金を消費する学びの場「アカデミー」は、松本雑や信州産ヒノキのマイ箸づくりなど松本らしさにこだわった 11 講座を開講し、各々専門家が指導にあたりました。さらに考房『ゆめ』学生は、「カルチャー」7 講座を開講しました。また、子どもたちが出店したブースは「宝くじ店」「アクセサリー店」など 9 店舗。専門家による創業支援を受けて、楽しいお店が出来上がりました。

地域社会に関心を持つきっかけに

参加者の子ども、当日スタッフの高校生や学生たちは、働く、納税、消費といった一連のお金の流れを知り、選挙を実施したことで、社会や選挙の仕組みを知る機会となりました。また、各々の主体性を育み、協力しながら自分たちでまちを創ることにより、異年齢間の交流を通して、今地域社会が必要とするコミュニケーション力を養いました。あわせて高校生や学生は、社会人とともに子どもたちをサポートすることで、社会人基礎力を身につけ社会の担い手としての自覚を育む一歩となりました。

- 主 催: 松本大学地域づくり考房「ゆめ」
- 協 賛: サントリービバレッジサービス株式会社、松本倉庫
- 後 援: 松本市、塩尻市、安曇野市、山形村、朝日村、松本市教育委員会、塩尻市教育委員会、安曇野市教育委員会、山形村教育委員会、朝日村教育委員会、信濃毎日新聞社、中日新聞社、市民タイムス、松本平タウン情報、読売新聞 松本支局、朝日新聞 松本支局、毎日新聞 松本支局、NHK長野放送局、SBC信越放送、TSBテレビ信州、長野朝日放送、NBS長野放送、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン、あつみ野エフエム、FMまつもと、長野エフエム放送
- 企画運営: あるぷすタウン実行委員会

● 下記のアドレスにアクセスしてください!



あるぷすタウン × 検索



働いてお金を稼ごう!

仕事をさがす



まずはハローワークで仕事をさがします。求人票をチェックしてやりたい仕事を見つける子や、とりあえずなんでも良いから働いてお金を稼ごうという子も。



稼いだお金を使おう!



松大ピック

体育館で血回しや的当てなどのさまざまなゲームに挑戦しました。賞品がもらえるゲーム大会も開催。

はたらく



仕事の数は22。専門家の方に仕事の内容を教えてもらってから働きます。自分がやりたい仕事を起業することもできます。

お給料をもらう



お仕事をする時給で20yume (ゆめ) を稼ぐことができます。お金はあるぷす銀行でもらうことができます。

買い物



お花屋さん、写真屋さん、駄菓子屋、カフェなどでお買い物を楽しむことができます。

税金を支払う



稼いだお金から10%を所得税として税務署に納めます。税金はあるぷすタウンをより良い街にするために活用されます。※税金を払わないと次の仕事に就くことはできません。

学ぶ



アカデミーやカルチャーで地域の方や大学生から松本の伝統工芸「みすず細工」などを学び、楽しむことができます。

あるぷすタウンはこんな街です!



松本大学の5号館の1階から3階まで、所狭しと段ボールで作られた街が広がりました。街のシンボルあるぷす城には子どもたちからのメッセージが次々と書きこまれます。あるぷすタウンでの過ごし方は、自分次第。最初に仕事をがんばる子もいれば、お金がなくなって働き始める子もいます。自分が思うように過ごすことができる街です。



市長・議員が誕生!

市長 矢口遼馬くん

議員 川之辺聡美さん



来年は文房具屋をつくりたいと思います。そして、ピングやじゃんけんなどの交流大会を開いて、みんなが仲良くなれるようにします。



今年は、仕事が少なかったという意見がありました。来年も参加することができたら、仕事に対して充実感や、やりがいを持てるような街にしたいです。



あるぷすタウンをもっと良い街にしたい!という思いをもった子どもたちが、市長・議員に立候補しました。市長への立候補は1名、議員は定員2名に対して、3名が手を挙げ選挙を実施。

立会演説会後に、子どもたちが投票して当選者が決まりました。ちなみに投票率は驚きの90.4%!大人が見習う必要がありますね。

議員 林 実優さん



ひまな時間はどのようなかという意見があったので、その時間を使い、来年は、じゃんけん大会などでみんなが交流できるようにしたいです。

いろいろなお仕事がありました!



交番

指紋採取をしたり、街の安全を守るためにハトロールをしました。敬礼した姿がかっこ良かったです。



新聞販売店

街中に出かけて取材をし、街の様子を伝える「あるぷすタウン情報」の製作から販売までをおこないました。



銀行

子どもたちが働いてたまったお金を貯金できるように、通帳づくりなどをしました。



あるぷす寿司

専門家の手さばきに思わず拍手!つくるたびにコツをつかみ、上手にできるようになっていました。



お花屋さん

いろいろなお花をブーケにしたり、包装したりして販売。おみやげに買っていく子どもがたくさんいました。



植木屋さん

板金・工務店と一緒に職人ブースを展開。子どもたちの真剣な表情はまさに職人でした。



病院

マナー研修と同様に時給が10%アップする健康診断を実施。本物の病院のように待合室は緊張気味でした。



ラジオ局

街の様子を伝えるラジオ放送。落とし物や選挙の様子など、落ち着いて上手にアナウンスしていました。



松本山雅館

松本山雅の歴代ユニホームの展示の他、今年からJ1に挑戦する選手への応援メッセージを書きました。



Caféあるぷす

お客さんにメニューを聞かれたら、きちんと答え注文をとる子どもたち。大変でも楽しかったようです。



写真屋さん

お客さんに笑顔になってもらえるように声をかけ、証明写真や友達同士の記念撮影をおこないました。



清掃会社

他のお店から依頼を受けて掃除をしたり、窓ふき、床掃除など街の隅々まできれいにしてくれました。

ご協力ありがとうございます

滝沢美容院、(株)気づきの経営企画、(株)コンフォール、消防署、松本市立病院、松本警察署・地域第一課、ありがTHO企画、しおじりIBC、あづみ野エフエム(株)、柳沢新聞店、松本市選挙管理委員会、税務所、八十二銀行OB・OG会、ハマ園芸(株)HAMAフラワーパーク安曇野、(株)ヴィーヴォ、アルピコ交通(株)、成和板金(有)、安曇野作庭、(株)水城漬物工房、ながた寿し、あづみ野菓子工房彩香、くのいち美寿クラブ、松本山雅フットボールクラブ、昔遊びグループ、白木染工場、みすず細工復活プロジェクト、松筑木材協同組合・松本材青会、(株)e-face、スターウォッチングクラブ北斗、ペーパーJO、丸山隆、堀之内正子、西澤愛子、居関孝男、社会人ボランティアの皆様、田川高等学校、松本鎌ヶ崎高等学校、明科高等学校、大町北高等学校、下諏訪向陽高校、岡谷南高等学校、エクセラン高校、東京都市大学塩尻高校、ほか3校の高校生、sign、子どもあそび隊、◎いただきます!!、ええじゃん栄村、キッズスポーツスクール、ゆめ通信編集委員、すすき川花火大会プロジェクト、プロプロ、ゆめ学生スタッフ、ゆめ撮影隊

アカデミー・カルチャーで楽しく学ぶ



なんちゃって道化師講座

道化師のみなさんからパルーンアートや血回しのやり方を教わり、自分たちでも挑戦してみました。



天体を知る

講師の説明を聞きながら星座早見盤を自分たちで作りました。子どもたちは星空に興味津々です。

アカデミー・カルチャー一覧

松本雛（七夕人形）／楽しい藍染、草木染め／松本の伝統工芸みず細工／信州産ヒノキのマイ箸づくり／小物作り（ストラップ）／ペーパークラフト／デザインピース〜デザイン王におねはなる〜／なんちゃって道化師講座／鳥・甲虫・蝶の生感／天体を知る／誕生石入り オリジナルプレスレット屋／手話体験／スプレーアート／レシピ作り／ええじゃん栄村迷路クイズ

子どもたちが起業しました

街の様子に慣れてくると、「自分でやりたい仕事をしてみたい」という子どもたちが出てきます。創業支援センターで説明を聞いてから、9組の子どもたちが起業しました。



当たり付き駄菓子

仕事が少ないと見るやいち早く起業して、駄菓子を準備し、一気に売り切りました。行動力が素晴らしい!



射的

輪ゴム鉄砲で紙コップの的をしっかりとねらい撃ち。当たった的によって、もらえる景品が違い、工夫されています。



「2日間楽しめた人?」「は〜い!!」

子どもたちの声

最高でした。来年もぜひやってください。1年に2回やってほしいです。／来年もぜひ来ます!／夏休みに3〜4日間やってほしい!／とっても楽しい。来て良かった!／yumeで買えるものを増やしてほしい!／仕事がとれて安心した!／仕事をもっとしたい (あるふす城より)



参加した子どもたちが書いてくれたメモがいっぱい!!

活動に参加して

かけがえのない経験に

これまでボランティア活動に参加したことはありませんでしたが、将来、社会人となりまちをつくっていくことの大切さを子どもたちと学べたらよいと思い、参加しました。

当日はハローワークのブースで受付を担当しました。仕事が見つからない子どもたちが退屈しないよう話し掛けたり、求人票が出るタイミングを見計らって声をかけたり気を配りました。

2日間の中で子どもたちは起業したり、市長や議員になってまちづくりの提案をしたり、子どもたちの力だけでもこれだけのことができるのかと、大きな刺激になりました。そして、私たちが力で地域の活性化にできることもあるのではないかと考えさせられました。

今回参加したことで、社会の一端を感じ取れ、もっと社会に目を向けたいといけなさと実感しました。また、他校の友人もできて、すごく楽しかったです。

高校生ボランティア 長瀬 葉月



あるふすタウンを終えて

イベント当日、子どもたちのサポート役としてまちを歩いていると、「楽しいよ」「来年も絶対やって」と声をかけてくれる子どもたちがたくさんいました。そんな子どもたちの笑顔が見られて本当にうれしかったです。あるふすタウンは子どもたちのまちではありますが、私たち実行委員やスタッフとして参加した学生にとっても大きな経験になりました。協力をいただいた企業との打ち合わせや当日の運営などで社会との接点を持てました。また、まちの運営方針など学ぶことが多く、やりがいがありました。

そして、異なる世代が一緒になり一つのまちをつくり上げる中で、子どものパワーや可能性を感じることもできました。次回は、あるふすタウン市長や議員ら子どもたちのアイデアを取り入れたり職種も増やしてさらに盛り上げていきたいと考えています。あるふすタウン市民のみなさん、企業の方々、当日スタッフのみなさん、本当にありがとうございました!

あるふすタウン実行委員長 片瀬 咲季 (松本大学3年)



高校生の皆さんから

●本格的でびっくりした。自分たちにとってもまちの仕組みについて知る機会にもなった。参加して本当に良かった。

大学生の皆さんから

●普段、自分たちが中心に活動していますが、子どもたちが主体的に行動できるよう出来るだけ口を挟まずにサポートしたり、見守ることの難しさを感じました。

職業体験をさせていただいた専門家の皆さんから

●子どもたちが、いきいきと真剣に仕事をしている姿に、こういった機会を提供することの大切さややりがいを感じた。

高校生の窓口としてご協力いただいた先生から

●今回ちょっと声をかけただけで興味を持って参加してくれる生徒が、こんなにいたことにびっくりするやら、嬉しいやらでした。勉強と部活に忙しい生徒が多い学校ですが、生徒たちにどんどん参加するチャンスを与えていくことの大切さを再認識させられました。こういう機会を与えていただけてありがとうございました。

あるふすタウン実行委員会のみなさんへ

安曇野市豊科南小6年 島山 日和

2/28・3/1のあるふすタウンに参加した、安曇野市豊科南小学校6年島山日和です。私の体験したことは、手巻きずし屋、交番、あるふすアカデミーの宣伝、だかし屋、大工のお仕事とあるふすアカデミーのレシピ当てクイズ、松本山雅の応えんメッセージ書き、あるふす城のメッセージ書き、写真さつ映、おかいもの、選挙、納税です。どれもなかなか子どもでは体験できないもので、大人になったみたいでうれしかったです。

特にうれしかったのは、おかいものです。自分の働いた分だけ買うことができたからです。宝物を見つけて、かえたので良かったです。もし、第2回があったら他のお仕事をやってみたいし、ちがった楽しみを発見したいです。新しい友達も3人できたのでこのあるふすタウンは最高のイベントですね!!

自分の将来の夢がまだ見つかっていないので、ここでの体験はと〜っても役に立ちました。私も、こんなイベントをつくり上げてみたいです。2日間、松本大学の方に優しくしてもらえうれしかったです。ぜひとも第2回、あるふすタウンを開いてください!!おねがいます!ありがとうございました!



また会いましょう!

次も参加したいという子どもたちの期待に応えられるよう、スタッフ一同、がんばります!

